二十九日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙 一ヶ月 金六十錢
□郵 税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料 一行 金六十錢
□雜報欄 一行 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座仙台一〇八、五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 岡田弘成

中部文學の竹馬

向　達己

「中部文學」の第二號を讀んだ。第一號のいろは歌留多が文藝推薦候補になつたとかで仲々張切つた編輯振りである。田舍臭いゴミゴミした味は拔けきらないが第二號としては上出來の方であらう。

而し乍ら、いろは歌留多續篇として、熊王德平氏の「竹馬」が中心にしてゐるらしいので、先づは創作は讀まなかつたし、文藝推薦候補と、どの位のレベルかと半ばは期待し乍ら頁をめくつた。そして失望した。

無論、良い作品と云ふものは續けて出ることも少ないから、これをもつて前作を律するのは無理かも知れぬが、少くとも候補に上つた以上は、文學的に自覺が希まれるところだ。「竹馬」だけの範圍で云ふと、どうも再度の僥倖を願つてゐると云ふ風にしか見わなく、あまり感心しない。

例へば、宇野浩二が述べてゐる樣に、一聯の斯うした作品には、終りに行つて主題を押し出すと云つた癖があるが、成程、考へてみると、さうすることによつて小說にしようとする風習がどうも多いらしい。

「竹馬」でも、子供が乘る所で終つてゐるが、それがあたかも小說的結びに適當なるものゝ如くだ。無論この問題に失望する原因でも何でもない。兎角さうした風習が安易なる作家の世界を形ちづくつてしまつてゐるのに失望するのである。

宇野浩二が前作を、ユーモアを持つてゐることを、多乏な中に「この位の樂しさ」を感じると云つた意味で推薦してゐるさうだが、續いろは歌留多に同樣なことが感じられても、それよりも主人公の生活の刻りさげかた來るに思が甚だしく多く鼻について、讀んでゐても時折主人公の生活に、何か醱淬みたいなものを覺へて仕樣がなかつた。

全體を細かく分析する餘裕を持たないから多くを云はぬが、一つ一つの盛り上りで「かゝ畾つた」と云ふそれまでの結論が餘り早くぬ過ぎて　一人稱式で止むを得ぬことだがいさゝか鼻にもつた。

詩人の創作と云ふものはわてして、その詩よりも當められるべきものが少ない出澁隆盾氏の詩と創作も、やはりこの範疇を出なかつたと云ふことだけ云つて置かう。

これは暴論かも知れぬが私は同人雜誌の多くが何々文學と地域別や、そのグループの背後の色彩で、雜誌の名稱を決めてゐるのについて、同人達の世界が精神的にせばめられてゐるのではないかと危惧するものである。

同人雜誌は一つの殼である以上、そんな問題は如何でも良いのかも知れぬが、斯うした習慣が大概の場合同人雜誌短命の原因になつてゐる以上、あまり馬鹿に出來ぬ事柄ではないかとも思ふ。例へば「竹馬」などは「中部文學」らし過ぎるし、それを一歩も出てゐないとも云へる。

「歷程」の第十一月號も手もとにあつたが、紙が斷れた。この雜誌は同人雜誌と云ふより、例へば詩の「文學界」みたいなものだ。

お背戸の泣蟲

中村幸一

誰かな　お背戸の、
泣蟲は、
良い子の、坊やじや、
あるまいな。
チンチロ蟲なら、
籠に入れ、
泣蟲あ、町へ、
賣ろかいな——

誰かな、お背戸の、
泣蟲は、
良い子の、坊やじや、
あるまいな。
小狐どんなら、
檻に入れ、
泣蟲め、町へ、
賣ろかいな——

恭賦　紀元二千六百年祝典參列

永戸村　荻野倉太

鳳駕親臨慶紀元
歡呼宮苑萬民屯
生忝盛典我何幸
感激偏期報國恩

○

衆を得れば。天を動かす

箭子

11月30日

皇軍[illegible]占領（昭和十二年）

連續講談　異說赤穗浪士

（せつ　あか　ほ　ろう　し）

別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠錄』

〔68〕

桃川若燕

畫　城木齋

小町執心

安兵衞は與ヲ衞門と共に菅野の家を立出でる。

『只今お戾りになりましたのは寺田樣と仰しやいましか』

『ハイアノ方は三番町の青山四郎三郎樣の御家來で、六郎右衞門どと斷金の交りをなすつて居ります——』

『アノ方は折々お見掛け申しますので姿も存じて居りますが、御同伴をなさいましたのは寺田樣の御子息でございますか』

『ハイ……』

と云つたが、越後を浪人した孫とも云ひ兼ねたので曖昧な返事をしておいた。

これが後に大きな災禍となるとは神ならぬ身の夢にも知らない、さて與右衞門は喜んで安兵衞を同道して歸宅した。すると其の與右衞門の伜與之助と云ふは堀內先生の門弟で三千人からある弟子の內、四秀として指折の腕利、父の紹介で安兵衞に逢ふと年頭故氣も合つて大悅びで翌日から麴町の堀內道場へ通ふ事となつた。

安兵衞は堀內治左衞門の指圖の下に門弟と立ち合つて見ると、さすがは三年の間他國を步いた丈けあつて美事な腕前、堀內治左衞門も驚いた。

そこで堀內治左衞門が、

『武林、今度は貴公相手をしなさい』

と傍に控へた一人物に指圖した。

『ハッ』

と答へてそれへ出たのは武林唯七。播州赤穗淺野家の家來で、當年二十一才の元氣盛り、腕の筋は仲々よく、師の治左衞門からも愛されてゐる。

『お手柔らかに』

『御同樣』

雙方立ち合つたが、その妙の變化は驚くばかり、立ち合つた同志共に相手の腕前に感じ入つてからと云ふものは意氣相投じ兄弟のやうな交際をした。

これを聞いた寺田與右衞門も良い者を引取つたと實意を籠めて指導する。

と、或る日菅野家の屋敷を訪れた寺田與右衞門が、

『さて菅野氏、安兵衞は先日より堀內先生宅へ日々通つてゐるが、どうも非凡の腕前、治左衞門殿も大層感服してゐる由である。それに眞陰流の外に眞庭念流も極めてゐると見ね頗る太刀筋に鋭さがあるとの事、伜與之助も安兵衞の腕前には高慢の鼻を折つた樣子、早業ではとても及ばんと申し居つた——』

『そはどうも何かと御厄介になつて何とお禮の申し樣もない、安兵衞はそれ程の腕前でござるか』

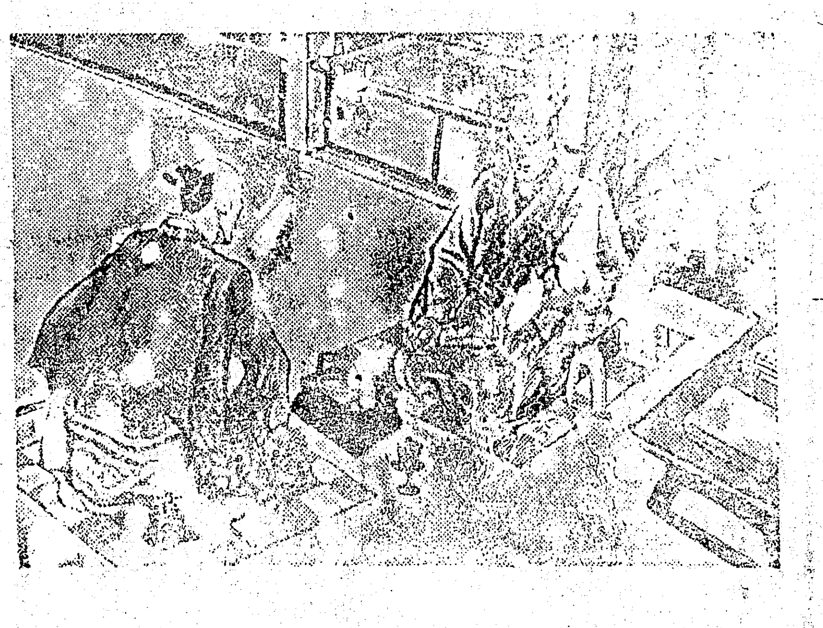
『イヤ頗るの太刀筋——ときに菅野氏、一寸お尋ね申すが御隣家津田新五郎殿の御息女が在つしやるか』

『左樣、隣家津田殿の御息女は菊江殿と申し當年十七歳、誠に發明な方だが何んでそれをお尋ねなさる』

『實は伜與之助の嫁に津田殿御息女を貰ひたいと云ふて手前方へ申し込んだものがござつた、それについてお隣だから何かと氣性をよく御存知と思ひ今日お伺ひに出ました次第、一体津田殿は何う云ふお方で在つしやらうか、どうか菅野氏御遠慮なくお聞かせ下されたい』

『イヤそれは誠に目出度いお話しだ、津田殿は百八十石を頂いて、他に役料五十石、誠に結構なお身分——』

『ハ、アして見ると先づ二百三十石、これはどうも些と不釣合な縁組だな、御存知の通り拙者主人は御書院番を勤めて四千石、その用人の某、中々二百石以上のお方の息女は嫁に出來な——』



四倉局管下
電話御入り用の御方は
當支局へ御申込下さい
磐城毎日新聞社四倉支局
本町百十四番地
〔柏屋旅館向ヒ裏〕

鳩尾を落すと
身體がメキメキ丈夫になる
▼實驗上より見たる適應症
胃腸病　胃酸過多症　胃アトニー　胃下垂
胃擴張　下痢　便秘　中風（半身不隨）
血壓亢進　動脈硬化　神經衰弱　不眠症
頭痛　齒痛　生殖器障害　鼻病
心臟病　胸部疾患　脚氣　精力減退
帝國發明協會　實施部　推薦
鳩落加壓器の詳しい說明書や、雨宮博士の文獻は御申込次第無代送呈致します。日ノ、キング雜誌上朝日、東日讀賣各新聞紙上發表しあります
鳩落加壓器（ラヂウム包含）
正價 金拾五圓也　送料 內地三十五錢　海外六十五錢
製造頒布元　東京　株式健體會本部
特約頒布所　平市白銀町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番　振替東京三〇〇五番

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村亭
平市町南　松村醫院外科部

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町（電話六一三番）　藤田女學校前
「入院のお需めに應ず」
〔看護婦及び見習看護婦募集〕
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
鈴木醫院
內郷村高坂磐炭病院前

平商業組合設立につき謹告

謹啓　晩秋之砌彌々御清祥奉慶賀候

陳者今般縣當局ノ指示ニ依リ平地方全商業者打ツテ一丸トナリ平商業組合ヲ組織シ經濟ノ新体制ヲ確立シ以テ物資ノ配給機構ヲ整備致度十一月十日附ヲ以テ別紙設立發起屆ヲ提出致置候

從來業種別ニ依ル商業組合ヲ結成シ夫々配給業者トシテノ使命ヲ遂行シ來リシモノナルモ配給統制ノ强化ニ倶ヒ種々ナル支障ノ發生ハ必然的ナル現象ナリト思量シ之ガ除去スル目的ヲ以テ企圖セルモノニ有之候

就テハ平商業組合設立認可後ハ各自ノ加入セル組合ハ本組合ニ包含セラレ從テ從來各組合ニ出資セル資金ハ本組合ニ對スル出資ニ依リ一元化サルヽモノニ有之候間以上ノ事情御了承ノ上御同意相成度願上候

昭和十五年十一月九日

平商業組合設立發起人

總代　山崎與三郎

資格者各位殿

平商業組合設立同意ヲ求ムル書面

今般平商業組合設立發起致候ニ付テハ左記事項承認ノ上御同意相成度此段得貴意候也

昭和十五年十一月九日

事務所　平市字二町目十八番地

平商業組合設立發起人

平市字古鍛冶町三番地　山崎與三郎
平市字五丁目六番地　諸橋久太郎
平市字四丁目二十六番地　猪狩庄平
平市字一丁目十四番地　菅本庄治
平市字四丁目八番地　鈴木與一
平市字三丁目二十番地　柏原幸次郎
平市字四丁目二十二番地　百澤易興
平市字長橋町二十八番地　關勝茂
平市字中町二十一番地　安藤金次
平市字二丁目十三番地　根本善吉

殿

記

一、地區　福島縣平市　石城郡內郷村　好間村　赤井村　上下小川組合村　永戸箕輪組合村　三阪澤渡組合村　神谷村　草野村　夏井村　飯野村　高久村　鹿島村及豐間町一圓

二、組合員タル資格　地區內ニ於テ店舖ヲ有シ左記物品ノ小賣商業ヲ營ムモノ

〔食料品部〕
米穀　雜穀　砂糖　小麥粉　和洋酒　清涼飲料水　醬油　味噌　調味料　果實　蔬菜　海產魚介　鹽干魚介　豆腐　壜、罐詰　食肉　乾物　乾麵　和洋茶　乳製品　菓子　飲食業　冷菓　食油　蒟蒻　納豆　麴等食料品雜貨

〔日用品部〕
木炭　石炭　醫藥品　衞生材料　書籍　和洋紙　文房具　學用品　小間物　化粧品　袋物　和傘　金物　自轉車　陶磁器　娛樂器具　花屋　石油　電氣器具　寫眞　日用雜貨　燐寸　玩具　ローソク　石鹼等日用品雜貨

〔衣料裝身具部〕
吳服太物　洋品　履物　洋服　既成洋服　時計　靴　毛糸　裁縫手藝材料　縫糸　ゴム被服　軍手　軍足　地下足袋等衣料裝身具雜貨

〔建築材料〕
木材　塗料　疊表　疊糸　茣座　家具　セメント　ベニヤ板　硝子器具等建築材料

〔雜ノ部〕
旅館　寫眞師　理髮　湯屋　葬具　肥料　飼料　藪　農機具　藁、麻竹加工品　古物廢品等諸雜貨

三、出資一口ノ金額及其ノ拂込方法　出資一口ノ金額ヲ金五拾圓トス　出資第一回ノ拂込ハ一口ニ付金拾貳圓五拾錢トシ第二回以後ノ拂込ハ配當スベキ剩餘金中ヨリ充當スル外毎年二月末日迄ニ一口ニ付金拾貳圓五拾錢ヲ拂込ムモノトス

・豫定出資總口數　六、〇〇〇口

四、經費ノ分賦收入方法　組合員ニ分賦スル經費ハ本年度ニ限リ一名ニ付金壹圓ヲ申込ト同時ニ徵收ス

五、事業計畫概要

第一期事業
一、組合員ノ爲其ノ配給商品ノ取扱ヲ爲スコト
二、組合員ノ爲其ノ取扱商品ノ仕入ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲其ノ取扱商品ノ販賣ヲ爲スコト
四、組合員ノ取扱商品ノ保管、選別、運搬、包裝及荷造ヲ爲ス爲共同設備ヲ設ケ組合員ヲシテ之ヲ利用セシムルコト
五、組合員ノ營業ニ關スル統制ヲ爲スコト
六、組合員ノ營業ニ關スル指導、研究及調査ヲ爲スコト
七、組合員ニ對シ其ノ營業ニ必要ナル資金ノ貸付、組合員ノ爲ニスル其ノ營業上ノ責務ノ保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲ爲スコト
九、以上ニ附隨スル一切ノ事業其ノ他組合ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル施設ヲ爲スコト

第二期事業　第一期事業ノ擴充强化

同意申込注意

イ、既設組合員ハ其ノ組合ヲ通ジテ申込ミヲナスコト但シ二組合以上ニ加入スルハ重復セザルコト
ロ、同意書二通、出資引受書一通、業態調查一通提出ヲ要ス
ハ、組合組織ナキ業者ハ單獨加入申込ムコト
ニ、申込締切ハ十二月廿五日迄トス
ホ、申込所ハ平市二丁目平商業組合創立事務所宛タルコト
ヘ、同意ニ要スル用紙ハ創立事務所ニ於テ交付ス

內臟外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
醫學博士 北川芳夫
◎入院隨時
平市新川町〔電四六四番〕

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇〇
振替仙臺五一番
〔藤森事務用器商會〕

小名濱商港費　全額削除
全縣擧げ復活運動起す
期成會小松議長、小野、蓮沼縣議等上京

本縣海の玄關口であり唯一の商港たる小名濱港第二期修築工事問題は既報の如く內務省は緊急な施行を認め明年度に於て着工すべく三百萬圓の豫算を計上大藏省へ要求した爲、地元小名濱町は論を俟たず、百六十萬縣民齊しく大藏省の態度を括目してゐたところ、同省第一時査定に於てバツサリ削除され、豫算案はそのまゝ內務省へ回附されるに至つた、縣民の失望は元より、地元小名濱町は死生を制せられる重大問題だけに全町議上京二十七日出席中の縣會から急遽上京した小野町長と共に關係方面へ猛烈な復活運動を行ひつゝあり、一方小名濱築港期成同盟會も相呼應して大藏省へ運動を起す爲、同會の理事である小松縣會議長が別項の如く二十八日の縣會へ經過を報告、蓮沼龍輔、大竹作摩兩氏を委員に擧げ、後藤土木部長、丹野監理課長等一行は同日午後三時福島發急行で上京、小野縣議と共に今二十九、三十兩日に亘つて內務、大藏兩省に向つて工事促進の豫算案復活猛運動を行ふことになつた

小名濱商港は縮小した工費で第一期工事を施工し引きつゞき繼續して行ふべき第二期工事を行はない結果佛を作つて魂を入れない形となり、昨年夏の暴風高浪に慘害を受けて以來相次ぐ波浪の被害を受け、災害復舊工事の施しやうもなく、今年九月更に激浪に洗はれ折角の港灣も慘憺たる被害を受け、視察する者を驚かし內務省は第二期着工の緊急を認めて明年度豫算に要求したものである、このまゝ工事を遲延せんか商港としての價値は論を俟たず、漁港としての存在價値も失はれる程荒廢にまかせてゐる、

劈頭『商港問題』報告
縣會八日目教育費、討議

通常縣會第八日は二十八日午後一時二十分から開會した出席議員二十四名前日に引續き第三部（教育費）に關する質問で參與員席は昨日同樣上塚學務部長を筆頭ロ大村教育佐藤社會教育大高社寺兵事渡邊職業の各課長が居並ぶ寒いせいか傍聽席は算へる程で淋しい議員の出席もこれに準じてゐるやうである

小松議長『本日の議事日程は第三部に關する第一讀會であるが建議案の提出があるので報告する』と書記をして三十數件の建議案を報告せしめた上小松議長更に發言

『議に先だち御諮り致すが小名濱港修築に關する費用は內務省から大藏省に廻して同省の査議に移したところ大藏省では一應之を返戾したと云ふ事である、これは本縣に取つて重大な問題であるから復活要求の爲めに强烈な運動を起す必要を認める、右に關し小野晋平君は急遽上京して活動されつゝあるが私も幸ひ帝國議會五十周年記念式に參列の光榮に浴し上京しることゝになつたから式終了後は該運動に參加する議員中からも二名の代表者を擧げ運動に參加する事がよいと考へる、贊成であろば議長の指名で上京委員を決定したい（議場異議なし）然らば大竹作摩君と蓮沼龍輔君の二名を指名する兩君は上京運動に參加されたい』

陳情委員に大竹、蓮沼兩君を擧げて本議に入るけふの初登壇は

男女共學は可能
教員を優遇せ
木村議員教育問題質問

六日目の縣會で知事に對し爆彈質問を爲して朝野に話題を投じた新進氣鋭の歸還勇士木村守江君、教育費問題で『國民教育と教員待遇問題』等に關して突き込んだ質問する

木村守江君（登壇）『當局は過般二回に亘り小學校長を招集し國民學校に關する講習となしたがこの事で教育の大改革に處するを得るであらうか、自由主義的教育方法を數十年間續けて來た彼等が僅か三週間の講習で全体主義教育に關する事が出來ると思はれぬか校長よりも若い教育者を集めて講習さすべきであると思ふが如何、國民學校の實施を急いでも教員に人を得なければその實を擧げる事は出來ず師範學校の改革と卒業生の優遇が第一であると冒頭として師範入學生の減少しつゝある現狀を憂へ小學校教員の物的と精神的兩面に亘る優遇實施を論述小學校教員に幻滅の悲哀を感ぜしめるなと叫び

『師範一部生は二部生よりも成績や常識が劣るのではないかと言はれてゐる一部は貧しくて中等學校に行けないものが入學する關係からではあるまいか、食費ほしさに入學する師範生などでは憂慮される縣は食費給與を廢し、代りに卒業生を優遇する考へはないか師範生中は男女別々にし卒業すると同じ學校で教鞭をとるのでは意味がない學生時代に一緒にて授業する事がかへつて教育効果があるではないか附屬小學學機構も改革する必要が高る、廢止の考へはないか青年指導費は前年より千五百圓を增したに過ぎずこれは一體何の方面に使用するものか青年の指導は形式に流れず自から青年の中に入つて行ふべきである、この點は佐藤社會教育課長から承りたい、在鄉軍人會に對する補助も時局下に於て尠すぎる增額の考へはないか』

青年の指導と轉失對策
社會問題を質す

縣下青年の疾患に對し社寺兵事課長は如何なる考へを有するが教員に對する家族手當は何時から實施するか商工業者の轉失業者その他を滿洲に轉任せしめんとする政策は何等の訓練ないものを大陸に送るのは當を得ないまた滿洲移民に對する耕作反別割當が漸次減少して居るとの事だが、これらの眞相について職業課長の答辯を求める』

と大小の問題を巧に捉へて論述し各課長まで答辯に引出す

上塚部長（登壇）『單なる講習程度で國民學校に關する準備を了したとは思はぬ今後充分に全面的の準備を進める若い教員諸君に對しても勿論順を追つて講習その他を實施したい、師範卒業生の待遇を改善するときは從つて全教員に及さねばならず現在以上には容易に實施出來ない、追範教育費は國家又は公共團體が負擔すべきでその意味から補給してゐる師範の男女合併は法規上からも困難である附屬校の廢止も至難である、青年指導費や鄕軍補助金もこの程度に止めるの外ない家族手當は市町村支出になつて居るので現在出し得ないのもあり國費等で支出すべく本省に於て研究中で實施は十月中に朔るものである

佐藤社會教育課長（登壇）『如何にして青年團の振興發達を期すべきか研究してゐる指導は仰せの通りお座成りではならない、青年と起居を共にせねばならず靈山その他の道場を設置活用指導者も常置する』

大高社寺兵事課長（登壇）『壯丁の体位向上の問題については重大問題であらゆる角度より考究し本縣では徵兵檢査前に豫備的檢査をなし疾病あるものには低費診療をなしまたまた壯丁体育協議會等を開催してゐる』

渡邊職業課長（登壇）『轉業方向については政府の方針により對處して居る中小商工者の轉業者を全部滿洲農業移民にあ話する考へはない家庭的事情その他を充分考慮の上お世話してゐる』

この時闕聯すると發言

下新体制
縣會代表　總括的質問（速記原文錄）（四）
勤勞者を表彰技術の向上を圖れ
蓮沼龍輔氏

防諜の徹底化を圖らなければ今日、常に不足を來して居るやうでは滿足なる取締を期待することは木に椽つて魚を求むるか如きものであると斷じて憚らないのでありますどうぞ當局に於て此の邊に意を用ひ十分なる調査研究の上素質優良なるところの警察官を募集するやうに一段の御努力を御願したいと同時に此の點に對して御意見を伺つて置きたいのであります、

次に教育方面でありますが今度の豫算面に依りますと男女子師範學校生徒食費の補給が多少增額せれたやうでありますが此の補給增額に依つて本年の春募集したやうな苦杯を二度と甞めないと云ふだけの確信がありや否や今日の師範教育に對しては警察官の募集經の過を見るが如く直接一年、二年と云ふのには現はれませぬが今日の師範の應募者の素質以をては數年後に於て我か日本のこの時局を双肩に擔ふべきところの第二國民を教育するところの教員として素質及び其の他に於て欠陷がなくして完全な教育が施しるがどうか、勿論當局は其の點に對しては萬遺漏なしと御答辯かあると思ひますが吾々の調査研究するところに依りますと決して本年應募者の中の生徒の中とは申しませぬが本年のやうな師範の入學の狀態では本縣否國家の教育上に大なる關心を拂はなければならないと思ふのであります、此の點に對して當局の御意見を御伺したいのであります、

次に他の議員から質問があることゝ思ひますので詳しい事は省略致しますが此の非常時局に際會致しまして現下の金融統一問題が新聞紙上に現はれて居るのであります、當局の之に對する御方針と申しませうか計畫の概念だけをも伺つて置きたいと思ふのであります、是は質問ではありません、參考に申上げて置きますが中々世の中と云ふものは色々人のことを苦勞するもので農工銀行と勸業銀行が近く合併をするやの新聞記事を見て今は直ぐにも實行が出來得るやうに宣傳をする者もあり或ひは餘計な心配で重役諸公が十五萬圓の報酬金を貰ふさうだとして心配をして居る人もある中には重役諸公は縣下有力な方であるから十五萬圓貰へば約三分の二位は國防獻金にするだらうと云ふやうな餘計の心配をして居る方もある、中々此の世の中と云ふものは複雜怪奇が多いので是は唯御參考までに申上げて置くのであります、

次に二千六百年の記念事業として記念林の計畫を發表になられましたことは洵に御同慶に堪へないのであります、更に一歩進んで當局の御意見を伺ひたいことは縣下各種團体中優良勤勞者なるものに對し長官より特別なる表彰をしてはどうかと思ふのでありますと云ふことは去る十六日の午前十時に仙台監督局に參りまして私も末席を汚した一人でありますが東北六縣の鑛山の優良坑夫二百七名に對し二千六百年記念として局長からの表彰式典を擧げられたのであります、前に於きましても各種團体、決して鑛山とは申しませぬが各種團体中の優良者に對する知事の表彰と云ふことは取も直さず産業人としては軍人に譬へたならば金鵄勳章でありまして所謂發奮向上せしむる一助になるのでないかと思ひます、

× × ×

議會開設五十周年

式典へ參列　本縣の『最古參者』
感慨を語る　安島重三郎翁

聖上陛下の御親臨を仰ぎ今二十九日白亞の帝國議會で行なはれる『議會開設五十周年記念式典』に參列の光榮に浴した石城郡出身の議會人は山田村郡蓄産組合長安島重三郎　大浦村長本村清治　神谷村長佐藤庄太郎　磐城建物會社長鈴木辰三郎　錦村出身星製藥社長星一　湯本町出身比佐昌平の元代議士及現代議士の六氏で何れも政黨人として代議士たりし時代地方の開發に貢獻する處大きく、議會開會五十年祭に參列して感慨無量なものがあると思はれる、殊に山田村の安島氏は河野廣中氏の奉答文問題で解散受けた後を受けて明治三十七年若冠三十一才で第二十議會に選出され大隈公の率ゆる改進黨代議士として政治に參與した本縣で最古參の代議士である、今日の式典に臨み、當時を追想して語る

當時を振返つて洵に感慨に堪へない、其頃は恰も日露戰爭の最中で實に內外多事の時であつたから與黨でも野黨もそれこそ眞劍に困難打開に努めた、隨つて利權を漁ると云ふやうな惰落した政治家は一人もなくどちらかと言へば皆な國士の風格を備つた立派な政治家が多かつたので國民の信頼も厚かつた、新体制を整ふべき國家重大時局に直面し想ひも新たに一段と心の緊重を覺える

待望の鰯水揚げで
小名市場活況
一ダメシ六圓七十錢

廿八日午前十一時頃待望久しかつた鰯の揚操船共德丸が小名濱へ入港、百五十ダメシの水揚げした、待ち兼ねた魚商加工業者が町營市場へ殺踏して時ならぬ賑はいを見せ相場はドン／＼せり上げられて一ダメシ（一籠）六圓七十錢とはね上り未曾有の高値を呼び引張り凧で忽ち捌かれた第一船の水揚げで加工業者も『魚群近し』と張り切つてゐる

新たに賃貸の宅地家屋に新統制
怠れば千圓以下の罰金

地代並に家賃に對する新統制令は去る十二月二十日以後はじめて賃借契約を結んだもの即ち從來貸してゐなかつた土地や家屋に對して新築せるもののみに限らず是まで自分が使つてゐたり或は新たに工事を如へたる宅地に新契約をなしたる場合は、其の契約の日から三週間以內に地方長官に屆出でる、若しこれを怠つたり虛僞の屆出でをなしたるものは千圓以下の罰金に處されることになつてゐるが地方にはまだ同統制令が徹底されない憾みがあり平署管下にも此の屆出でをなすべき該當者が散見されるので同署では右にたいして懇切なる指導說明をなすべく部落常會その他の會合等に係員を派することになつてゐる

因に宅地とは建物所有の目的に供せられる土地で住宅のみでなく工場敷地等をも含むめ、又現に建物所有の目的に供されるのであれば例令公簿面の地目が田畑山林原野になつてゐるものでも適用を受ける、價格基準は昨十四年九月十八日に定められたるものによる

代用ゴム靴進出
小名濱で二十餘軒
近く片濱業者で組合結成

皮革の統制以來靴製品の販賣が喧ましく成つた爲時の寵兒として代用のゴム靴再製品がワンサと登場、特に漁夫用長靴の修理物が著く多くなり小名濱町だけで一擧に修繕業廿名も店を開いて大繁昌、爲に業者の統制が必要になり皮靴業者も加へて約廿五名が小名濱靴商工組合を結成更に漁業に關係深い片濱業者約六十名も加へて强力な組合の組織に乘出すことに成つた

小名濱町の
木炭配給
一千二百俵を公平に

需要期に直面し小名濱町へ木炭一千二百俵入荷したので二十七日商業組合方法につき業者と關係者の打合會を開催今後は統制規則に備據して公平な分配を行ふべく經濟警察並に役場吏員も參加した

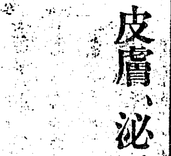
新体制座談會
市役所水入らずで

來月一日午前六時から公會堂日本間で市會の正副議長を中心に市役所各課長、主任級市會議員等が役所內の水入らずで新体制と大政翼贊運動に關する座談會を開くとに成つた

一萬圓頒ける
會田醫師の篤行

福運の一萬圓を皚き當てた小名濱町の醫師會田亮氏は既報の如く同町第二小學校へ校旗を新調寄附したが老母の意志を受け今度は

△二百圓、小名濱銃後奉公會百圓、同町國防婦人會へそれ／＼寄附をして町民に感銘を與へてゐる



新曆 十一月卅日 土曜
舊曆 十月二日
丁丑　赤口　滿　柳宿

▲一白　考へ過ぎて理に陷り實情に遠ざかり行く日▲二黑　器用に任せ餘分な小策をすれば失敗すべし▲三碧　今日終りを告げざる事は企つべからざる日▲四綠　目上に謀り長上に聞きて獨斷を戒むべき日▲五黃　遣り繰り工夫事は損する恐れあり自重せよ▲六白　穩健に進めば大吉浮海の事には大凶なる日▲七赤　企つる事小なるも追々大なるものと成べし▲八白　勞多く功少きも後日の爲めと勵むべきこと▲九紫　苦を去り何となく氣の晴れ晴れと働ける日

天氣豫報

今晚　南來の風晴れ
明日　北西の風曇り後晴れ

二十七日
滿潮＝前五、三五　後六、四五
干潮＝前一〇、〇五　後一一、三五

附屬產院　新設
姙產婦入院隨意
產科婦人科　木村病院
平市新川町　電話一六四番

病室增築、手術室完備
產科婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

和洋鐵金物問屋
價を低く質を高くは
良品廉賣は磐城のモツトー
釜屋商店
磐城平町五丁目、電話九番

皮膚、泌尿器、性病科
江尻醫院
江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番

移轉豫告
弊院儀本月末より本町古港（前津村屋跡）に移轉引續き開業する事になりました、設備も萬全を期しました、豫めお知らせ申上ます
十一月
小名濱町
野村外科

內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠